

広報

ただみ

11
2021 月号
No. 618
令和3年11月10日



今月の表紙

【10月10日 只見町民駅伝大会】

気持ちの良い秋晴れの下、中学生（男子・女子）11チーム、一般（男子・女子）6チーム、男女混成1チーム、オープン参加1チームの計19チームが参加しました。町下広場駐車場～町下橋～只見ダム折り返しの約3キロ×6人のコースをチーム一丸となり、襷を繋ぎました。

《特集》

只見町表彰式・道路除雪表彰式 … 2～3

只見駅前賑わい創出事業 …… 4～5

《News&flash》 …… 8～9

《町の話》 …… 10～11



令和3年度 只見町表彰式・道路除雪表彰式

長年の功績を称え表彰



「令和3年度只見町表彰式・道路除雪表彰式」が、10月26日に季の郷湯ら里で開催し、受賞者の方々や関係者が出席しました。

この表彰式は、長年にわたり公共の福祉と町政の伸展に尽力され、その功績が他の町民の模範となる団体や町民の方を称える「只見町表彰」と、長年にわたり地域住民の生活や経済活動を支えるため、昼夜を問わず献身的に除雪作業に取り組まれた方を称える「道路除雪表彰」の2つを表彰するもので、2年に1度開催しています。

今年度は、両表彰を合わせて41名の方が受賞されました。受賞された方々は次のとおりです。

只見町表彰

(順不同)

特別功労表彰

目黒 吉久さん(坂田)

長年にわたり町長並びに議会議員を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

酒井 右一さん(福井)

長年にわたり議会議員及び消防団幹部並びに町課長職を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

功労表彰

中野 大徳さん(叶津)

長年にわたり議会議員及び消防団幹部を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

藤田 力さん(只見)

長年にわたり議会議員及び町課長職を務め住民福祉の向上、地方自治の進展に貢献されました。

鈴木 高宏さん(只見)

佐藤 邦広さん(楢戸)

滝沢 和晴さん(蒲生)

山中 美明さん(黒谷)

目黒 公俊さん(熊倉)

五十嵐敦彦さん(坂田)

飯塚 和行さん(坂田)

馬場 勇さん(塩ノ岐)

長年にわたり消防団幹部を務め民生の安定向上に貢献されました。

五十嵐イミ子さん(塩沢)

長年にわたり民生児童委員を務め社会福祉の向上発展に貢献されました。



▲除雪従事者感謝状を受け取る松永孝一さん



▲特別功労賞を受賞された目黒吉久さん

— 顕彰 —

酒井 孝雄さん (坂田)

長年にわたり保護司を務められ社会浄化と明るい地域づくりに貢献されました。

横山 郁子さん (黒谷)

長年にわたり納税組合長を務め町政の向上発展に貢献されました。

藤田希恵子さん (只見)

渡部 新喜さん (小川)

長年にわたり民生児童委員を務め社会福祉の向上発展に貢献されました。

新國 紀雄さん (東京都調布市)

ふるさと只見会設立にあたり発起人となり、以降長きにわたり会の中心として運営に尽力され町の交流促進に貢献されました。

目黒 睦也さん (埼玉県川口市)

只見町の振興発展を願い多額の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

— 善行表彰 —

八ッ橋設備株式会社 (会津若松市)

只見町の振興発展を願い多額の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

明治安田生命保険相互会社 郡山支社坂下営業所 (会津坂下町)

新型コロナウイルス感染症拡大をふまえた社会貢献として多額の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

石田 進午さん (神奈川県横浜市)

只見町の振興発展を願い多額の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

朝日地区地域づくり委員会 (黒谷)

長年にわたり国道289号等の道路清掃に取り組み環境美化活動に貢献されました。

国道252号六十里越雪わり街道を愛する会 (只見)

長年にわたり国道252号六十里越の清掃に取り組み

み環境美化活動に貢献されました。

馬場 光さん (樺戸)

長年にわたり国道289号館ノ川地内の道路清掃に取り組み環境美化活動に貢献されました。

— 永年勤続表彰 —

酒井 伸幸さん (只見)

大竹 健一さん (只見)

中野 大徳さん (叶津)

馬場 一義さん (蒲生)

栗木 隆行さん (福井)

目黒 公二さん (福井)

吉津 保夫さん (黒谷)

五十嵐 伸さん (黒谷)

鈴木 浩二さん (黒谷)

消防団員として30年以上にわたり在職し町民の生命財産の安全保護に貢献されました。

— 感謝状 —

一般財団法人温知会 会津中央病院 救命救急センター (会津若松市)

平成27年4月から令和2年3月まで本町に看護師を

派遣し地域医療に貢献されました。

公益財団法人星総合病院 (郡山市)

令和2年4月から令和3年3月まで本町に看護師を派遣し地域医療に貢献されました。

只見ランナイズ (只見)

多年にわたり本町のスポーツ界を組織的に牽引しスポーツ振興及び人材育成に貢献されました。

片桐 俊輔さん (栃木県那須町)

只見町の振興発展を願い多額の寄附をし長年にわたり町政の向上発展に貢献されました。

道路除雪表彰

(順不同)

— 除雪従事者 感謝状 —

目黒 衛男さん (只見)

山内 隆行さん (大倉)

松永 孝一さん (只見)

賑わいを創出します!!

見据えた只見駅前賑わい創出事業～



目的

2011年7月の「新潟・福島豪雨」により不通となっていたJR只見線の只見～会津川口間が2022年中に全線再開通する予定です。

その只見線復活のインパクトを最大のチャンスと捉え、観光客誘致と町内経済の活性化を図るため駅前周辺を整備し、2022年夏の施設開業を目指し賑わいを創出することとします。

施設整備にあたっては、ニーズに合った町の総合案内機能と飲食・物販サービスの提供や只見線ギャラリー（仮称）を開設することとしています。また、「行きたい・楽しい・また来たい」という気持ちを抱かせる施設創りをコンセプトに出店者を町内事業者等から募集し、町と事業者が一体となった協働事業として駅前の賑わいを創り上げていきます。

整備コンセプト

- ◆ **総合案内機能**：町の見所、観光施設、伝統工芸等を紹介し、「ただみ」を知って、楽しんでいただけるコンテンツを提供、発信します。
- ◆ **飲食サービス**：町内外のお客様のニーズに合わせた魅力的なメニューを提供します。
- ◆ **物販サービス**：町の特産品と合わせ、お客様のニーズに合わせた商品の開発と販売を行います。
- ◆ **只見線ギャラリー**（仮称）：只見線風景画・写真・ジオラマ・ペーパークラフトなどの常設展示や、只見線応援歌の紹介など、「ただみ」ならではの只見線の魅力を発信し誘客に繋がります。
- ◆ **施設形態**：拡張性・デザイン性に優れ、現地施工期間の短縮が図れる形態とします。
- ◆ **冬季間除雪**：敷地内の除雪作業に配慮します。

只見線の応援と合わせ、賑わい創出事業へのご理解・ご協力をお願いします！
全線再開通の一番列車を、本施設と共に町ぐるみでお迎えしましょう!!

只見駅周辺エリアに

～JR只見線2022年全線再開通を

施設開業後のエリア活用・運営

- ◆ 町と出店事業者が協働で施設の活用・運営を行っていきます。
- ◆ 雪まつりと一体となった施設運営を図っていきます。
- ◆ うまいもんまつりなどのイベントと連携して盛り上げていきます。
- ◆ 町内の飲食業・宿泊業・観光業などの事業者と連携したイベントの積極展開を図ります。
- ◆ JR東日本・只見線沿線自治体・只見線応援団体などと連携した運営に努めていきます。

主なスケジュール

出店事業者
募集

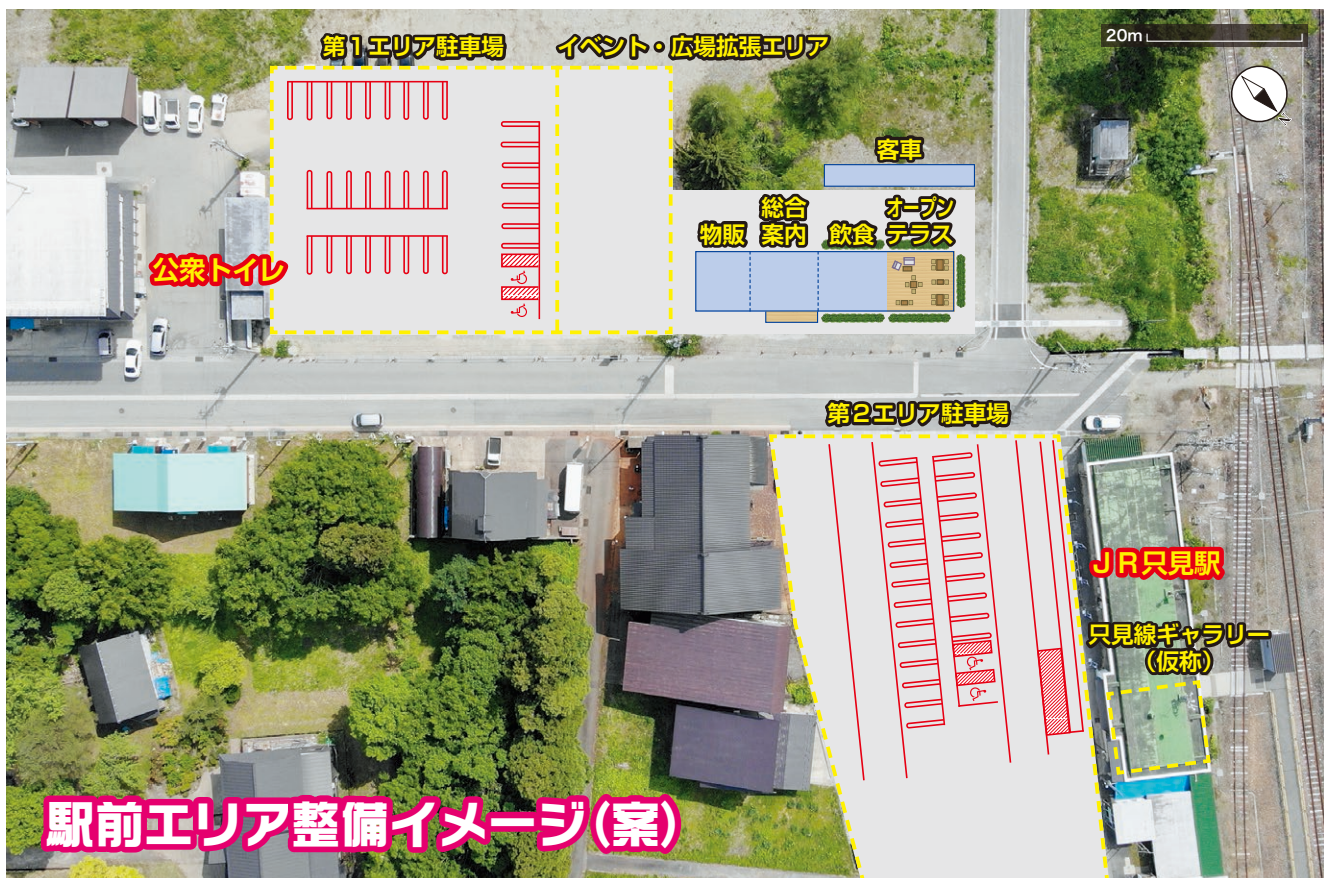
出店事業者
決定

施設整備
(建物・駐車場)

事業者
出店準備

令和4年夏
開業予定

第2エリア（駅前）駐車場については、先行して整備します。
事業者募集については、おしらせばん等で別途おしらせします。



お問い合わせ



観光商工課 観光交流推進室

電話：0241-82-5240

FAX：0241-82-5235

メール：suishin@town.tadami.lg.jp

Uターン者返還免除型奨学金の創設

只見町みらいの人財育成奨学金条例



議会9月会議において、「只見町みらいの人財育成奨学金条例」を承認いただきました。これにより、従来の「只見町奨学資金貸与条例」と「農業後継者育成奨学資金貸与条例」が新制度に統合されるようになります。

この奨学金は、只見町出身の生徒や学生が進路を自由に選択し、意欲的に学業に専念できるよう町が奨学金を貸与するものです。また、据え置き期間を長くし、**貸与を受けた者が将来只見町に戻ってきた際には、その年度毎の返還分を免除**できるようになりました。

今年度中に募集を開始し、令和4年度から貸与開始を予定しています。

新たな条例

只見町みらいの人財育成奨学資金条例

- 【目的】** 町の将来を担う人材育成のため
- 【対象】** 高校、大学、短大、専門学校等に進学する者
- 【貸与の額】** 月40,000円以内 ※高校12,000円以内
- 【据置期間】** 満30歳に到達するまで
- 【償還期間】** 10年以内
- 【返還免除】** 只見町に住所を有し居住の実態があるものに対して、その期間の年度ごとの償還を免除する。

ポイント!

新制度は、只見町奨学資金貸与条例のような所得要件を設けていません。また、**既存の奨学資金制度の利用者も含めて、只見町にUターンした場合、その年度ごとの償還分を免除します。**

農業後継者育成奨学資金貸与条例は新制度に統合することで、農業者をめざす方でも**対象校や対象者の幅が広がります。**

廃止になります!

只見町奨学資金貸与条例

- 【目的】** 経済的理由により就業が困難な者
- 【対象】** 高校、大学、専門学校等
- 【貸与の額】** ・高校月12,000円以内
・国・公立大学、短期大学等月30,000円以内
・私立大学月40,000円以内
- 【償還期間】** 8年以内
- 【返還免除】** 免除無し

只見町農業後継者育成奨学資金貸与条例

- 【目的】** 農業後継者育成
- 【対象】** 農業者大学校、福島県立農業短期大学校、(財)鯉淵学園農業栄養専門学校に進学するもの
- 【貸与の額】** 月100,000円以内
- 【償還期間】** 10年以内
- 【返還免除】** 卒業後直ちに只見町で就農

U・Iターン者には、他にもこのような補助金があります!

① U・Iターン等促進助成金

- 【内容】** 1人あたり5万円を交付。交付対象者が扶養している中学生以下の子ども1人あたり5万円を加算。
- 【条件等】** ①定住後1年以内に事業所などに就業し、6か月以上雇用されている又は起業（開業）している。
②就業開始日の年齢が35歳未満であること。
③3年を超えて定住する意思があること。
④税金等を滞納していないこと。

② U・Iターン有資格者等人材確保推進給付金(保健師・看護師)

- 【内容】** 基本額100万円を交付。(条件により加算有り)
- 【条件等】** ①保健師、看護師いずれかの資格を有していること。
②職員採用通知受理日から任期開始以後30日までの間に、只見町へ住所を移した方で、任期の定めのない只見町常勤職員として採用された方。
③5年以上継続して勤務できる方。
④税金等を滞納していないこと。
⑤給付金の返還が生じた場合の連帯保証人として、成人した只見町民1人を立てられる方。
⑥町内の他の施設又は事業者からの転職でない方

③ 若者定住支援事業補助金

- 【内容】** 住居費及び引越費用を合計した額(上限30万円)
- 【条件等】** ①令和3年4月1日以降に移住した世帯、又は令和3年4月1日以降の就業が確定された状態で、令和3年4月1日以前に移住した世帯
②勤務する事業所の人事異動等により町外に転出する見込みがない世帯
③定住の日において若者世帯、又は子育て世帯
④定住の日から1年以内の世帯
⑤就業している世帯員がいる世帯 等

④ 奨学金返還支援補助金(みらいの人財育成奨学資金以外の奨学金対象)

- 【内容】** 年度内に返還した奨学金の2分の1の額を補助。(年間最大18万円、最長9か月支援)
- 【条件等】** ①只見町に住所を有し、通勤圏内の事業所等に就業している、又は自ら事業を営んでいる。
②令和3年3月31日時点で35歳未満であること。
③税金等を滞納していないこと。
④申請時点で奨学金の借入が終了し、返還している。
⑤他の奨学金返還支援制度を利用していない。
⑥公務員でない。(会計年度任用職員を除く)

※補助金詳細は担当課へご確認ください。①、③、④ → 地域創生課 ☎ 82-5220 ② → 総務課 ☎ 82-5210

お食事券・元気応援券を配布

町内で使用できるお食事券と商品券の配布が、10月30日から始まりました。

これは新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、消費の落ち込みにより大きな影響を受けている町内事業者の皆さまへの支援や予防対策等に対する負担が増加している町民の皆さまへの生活支援を行うためのものです。

ぜひお早めにご利用ください。

■内容

配布対象者1人につき、
「只見町飲食店応援お弁当・お食事券」 5,000円
「ただみ元気応援券（商品券）」 10,000円

を各世帯に配布

■対象者

10月28日時点で只見町に住所を有している方

■使用期間

令和3年11月1日～令和4年2月15日



■使用方法

各券の取扱店で現金と同様にご利用いただけます。ただし、額面以下でのご利用の場合、おつりは出ませんのでご了承ください。

また、未使用の券の払い戻しはできませんので、必ず期限内にご利用ください。

■取扱店

お食事券・商品券に同封のチラシをご覧ください。なお、取扱店にはポスターを掲示しています。

■問合せ先

只見町商工会
☎ 82-2380

只見町公共事業補助金 (集落補助金)の 補助率が変わります

只見町公共事業補助金の内、農業用施設の 신설、改良、補修等に要する工事が10万円以上の事業に対しての補助率が引き上げられます。

前) 当該農業用施設の 신설、改良、補修等の事業に係る工事費の額の70%以内（平成20年3月6日以前の辺地集落又は30戸以内の小集落にあっては、当該工事費の80%以内）

後) 工事費の額の90%以内（平成20年3月6日以前の辺地集落又は30戸以内の小集落についても90%以内）

6月から実施した集落座談会内で、「高齢化が進み、農業用施設の改良・補修が困難になっている」、「国県の補助金の要件では厳しい」などの声を受けて、集落負担の軽減や機能の維持のため、今回の引き上げが決定されました。また、本年度に集落補助金を使用している事業に関しても、4月1日にさかのぼり適用となります。

身近な環境に生息する生き物を調査する

「水の郷学習会in只見」を開催

只見小学校の1年生～4年生を対象とした「水の郷学習会in只見」が、9月28日に只見町土地改良区の主催で開催されました。

今回の学習会は、身近な環境の生き物について学習し、農業農村のことも多面的機能について理解を深めることを目的に実施しました。

児童は泥んこになることも気にならないほど生き物探しに夢中になり、「たくさんの生き物が見つけれられて、楽しかった」と話しました。



▲捕まえた生き物も一緒に記念撮影をしました

舞台芸術に親しむ

家庭劇場「ルドルフとイッパイアッテナ」

本格的な舞台芸術に親しむために只見町教育委員会が毎年開催している家庭劇場が、9月27日に只見中学校体育館で開かれ町内の保育所園児や小学校児童が鑑賞しました。

今年は「人形劇団ポポロ」の方々による人形劇「ルドルフとイッパイアッテナ」が公演され、まるで生き物のように動く人形に、子どもたちは笑い声や歓声をあげながら見入っていました。



▲人形を巧みに操る劇団ポポロの方

奥会津の文化を語る

「奥会津の戦国期文化をさぐる―学僧祐俊の旅と文化遺産―」

町と教育委員会が主催したシンポジウム「奥会津の戦国期文化をさぐる―学僧祐俊の旅と文化遺産―」が、10月3日に季の郷湯ら里で開かれました。

シンポジウムでは東洋大学講師久野俊彦さん、昭和女子大学講師阿部美香さん、龍谷大学教授阿部泰郎さん、神奈川大学教授ブライアン・ルパートさん、大正大学名誉教授坂本正仁さん、名古屋大学教授近本謙介さんの6人が、奥会津地域で発見されている書物の紹介やその価値などについて、報告や解説をされました。



▲奥会津で発見された古典籍等の解説をされた久野さん

各地で活躍されています

ふるさと大使委嘱状交付

只見町の情報発信や町に役立つ情報の収集・提供など町のために様々な活動を行っていたただく只見町広報員「ふるさと大使」の第4期16名が改めて1年間継続していただけることとなり、委嘱状が交付されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委嘱状交付は郵送で実施し、町長からのメッセージを大使限定でWEB配信しました。

引き続き只見町の魅力発信をよろしく願います。

ふるさと大使名簿

としげ かずひこ 利重 和彦さん	千葉県	わたなべ ゆうじ 渡部 雄二さん	東京都
いじ ちたかお 伊地知孝雄さん	東京都	みやざき てつお 宮崎 哲夫さん	千葉県
おの きみつく 小野 公嗣さん	千葉県	つるまき よしこ 鶴巻 好子さん	東京都
なかむら おさむ 中村 治さん	千葉県	わたなべ みえこ 渡部美重子さん	千葉県
きはらま ゆみ 木原真由美さん	埼玉県	よしの むつみ 吉野 睦美さん	東京都
おもしろい 重石 稔さん	神奈川県	くぼ しゅうじ 久保 秀次さん	東京都
よしはら いくお 吉原 育男さん	茨城県	おおみや あきら 大宮 明さん	神奈川県
なみき のりお 並木 徳雄さん	東京都	ところ ひであき 所 英明さん	千葉県

(任期 R3.10.1～R4.9.30)

地域に寄り添う社会貢献
**明治安田生命
 保険相互会社から寄附**

明治安田生命保険相互会社が、只見町へ213,500円を寄附されました。

明治安田生命保険相互会社では、社会貢献活動「私の地元応援募金」を実施しています。今回はこの事業の一環で、新型コロナウイルス感染症対策のために従業員の方々からの募金と同社の寄附金を合わせ町へ寄附されたものです。

贈呈式では、月田坂下営業所長から渡部町長に目録が手渡されました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



▲明治安田生命の皆様、ありがとうございました。

令和3年度米の概算金下落
**米の需給緩和改善などの
 緊急要望**

昨今の人口減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食機会の減少などで、米の消費量が減少したことから、令和3年度米の概算金水準が全国的に下落しました。

これを受けてJA会津よつば農業協同組合より、ふくしま米の消費拡大に向けた認知度向上、県内小比率の拡大に向けた取り組み強化を要請する「米の需給緩和改善および価格安定に関する緊急要請」が町に提出されました。

町は引き続き、水稲生産者への支援を続けてまいります。



▲渡部町長へ要望書を手渡す佐藤専務

緑を守り育てる
「第69回南会津地方植樹祭」開催

緑豊かな地域を次世代に引き継いでいくことを目的に毎年開催している「南会津地方植樹祭」が、ただみの森キャンプ場で開催されました。

植樹祭には、町内3小学校の6年生や南会津地区の首長、大塚只見町議会議長などが参加され、ブナの木が植えられました。参加した小学生は、「今はまだ小さいけれど、大きく立派に育ってほしい」と話しました。また、鈴木章一さんが地域の林業振興や緑化事業の推進に貢献されたことを評価され表彰されました。



▲植樹の説明を受ける小学生や参加者の皆さん

親子の愛情を描く
**絵本「枕の匂い」を
 寄贈いただきました**

前教育長の渡部早苗さんから絵本「枕の匂い」をご寄贈いただき、町内小中学校に収蔵しました。今回の寄贈は、絵を担当した、こあくつしおり、さんが、渡部早苗さんの次女である縁からご寄贈いただいたものです。また、作者の星富子さんも檜枝岐村在住で、会津にご縁のある方です。

本を読んだ児童は「お休みの日しかおかあさんに会えないのが寂しいと思った。最後に一緒になれて良かったと思いました」と話しました。



▲ご寄贈いただきありがとうございました。

ブナの森の仕組みを学ぶ 「ストーリーボード制作会」

夏休み子ども教室イベント「ストーリーボード制作会」を開催しました。

制作の前に、ブナセンターの紙谷館長からブナの森の仕組みや森に暮らす動植物について学びました。制作は、NPO法人お山の森の木の学校の明石浩見さんが制作したブナ材ボードの上に、様々な生きものを模した木製パーツや木の実などを貼り合わせ、森の季節や時間の変化を表現しました。

子どもたちは楽しく制作しながら、自然について理解を深めました。

また、町内の子どもたちが作成したストーリーボードは、9月30日まで只見町ブナセンターに展示されました。



▲思い思いにブナの森の物語を表現する子どもたち

キレイに実りました 町内3小学校「手刈り体験」



▲只見小学校は新国真也さんの田で、脱穀のお手伝いもしました



▲明和小学校は松井栄吉さんの田で、はぜかけ体験もしました

町内3小学校の手刈り体験が、春の田植え体験でご協力頂いた農家の方々の水田で行われました。(只見小5・6年生/9月28日、明和小5年生/9月29日、朝日小5年生/10月5日)

児童は、しゃがんだまま行う手刈りの大変さを知り、昔は多くの方が協力して刈取りをしていたことや農業の機械化によるメリットなどを学びました。体験後には、「凄く疲れた。昔の人の大変さが分かった。人の手で1日かかっていたところが、機械だとあっという間に出来ることに驚いた」と話しました。



▲朝日小学校は藁谷友活さんの田で、コンバインの乗車体験もしました

デジタル生活の必需品

「スマートフォン体験教室」開催

スマートフォン初心者の方や所有したいと考えている方に向けた「スマートフォン教室」が、3 振興センターで開催されました。教室では、実際にスマートフォンに触れながら、文字入力の仕方やアプリのダウンロード方法、LINEの使い方などを体験しました。

インターネット検索の体験では、「今日のニュース」を写真付きの見出しで確認したり、「〇〇_レシピ」で簡単にレシピ検索ができることを体験しました。参加者は「使い方が分かれば凄く便利で、少しずつ活用してみたい」と話しました。



▲音声入力の仕方などの便利機能も体験しました

カードゲームでSDGsを意識する

カードゲーム「2030 SDGs」体験会開催



▲老若男女問わず多くの方が参加されました

「なぜSDGsが必要なのか」、「SDGsがあることによって、世界にどんな変化や可能性が起こるのか」をカードゲームで楽しみながら理解する「2030 SDGs」体験会を、10月2日に朝日振興センターで開催しました。

参加者は「世界のことについて、色々考えさせられるゲームでした。一見すると個別に見える様々な課題が、経済や環境、社会のそれぞれに影響を与えることが分かりました」とSDGsへの関心を深めました。

渋沢栄一と 青い目の人形と只見町

1927年、アメリカから約12,000体の可愛い人形が太平洋を越えて日本に贈られたことやNHK大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公にもなっている渋沢栄一がその受入れに尽力したことをご存知でしょうか。

昭和初期、日米関係が悪化していた頃、親日家の宣教師ギュリックが子ども同士の交流事業として、アメリカの子どもたちに働きかけ約12,000体の人形が日本に贈られました。その時、日本側での受け入れの中心となったのが、渋沢栄一でした。

人形は、アメリカの子どもたちのお小遣いと寄附で賄われ、当時「青い目の人形」の童謡が流行していたこともあり、人形が日本に届けられると多くの日本人の心を動かしました。

しかし、太平洋戦争が始まると「青い目の人形」は焼かれるなど、多くが失われてしまいました。現存している数は、わずかに100~200体と言われています。

そのわずかに残る内の1体が只見小学校に飾られています。この「青い目の人形」は当時の伊北小学校（只見小学校）へ贈られていたもので、先生をしていた方が戦時中に保管をし、難を逃れたそうです。

渋沢栄一が日米親善のために尽力をし、世界平和を願った「青い目の人形」が只見町に現存しています。

これをきっかけに日米親善の架け橋となった渋沢栄一に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



※児童の安全のため、一般の方の人形の観覧はできません。ご了承ください。

広報ただみ診療所

今年もインフルエンザは
流行らないの？

朝日診療所
所長

わかやま たかし
若山 隆



皆さんこんにちは！10月末現在、新型コロナウイルス感染症はかなり減少していますね。大変すばらしいですが、いつまた増えてくるのかと心配になったりもします。3回目の新型コロナワクチン接種も実施される予定ではあるのですが、それがいつどのように行われるかまだ決まっていないので、その話はまた後日させていただきたいと思います。

今回は毎年この時期おなじみのインフルエンザに関するお話です。しかし、去年はまったくインフルエンザが流行していなかったこともあり、今年も流行しないとタカをくくっている方が多いのではないのでしょうか？診療所でも、昨年度はインフルエンザと診断した方がほぼいませんでした。この原因として考えられることは幾つかあり、一つは新型コロナウイルス感染症の流行で、世界中でマスク・手洗い・外出自粛・宴会自粛などの対策がとられていたことが大きいとされます。他には、ウイルス干渉という現象があることが知られています。ウイルス干渉とは、あるウイルスが流行すると他のウイルスが流行しないというものです。理由としては、あるウイルスに感染した人は、免疫の活性化によりしばらくの間は他のウイルスが感染しにくい状態になるためです。つまり、コロナウイルスが流行すると、インフルエンザウイルスが流行しないということです。

しかし、これは裏を返せば、コロナウイルスが流行しなくなったら、インフルエンザウイルスが流行するだろう、ということです。コロナが減れば、感染対策に油断もできますよね？外出も宴会も増えますよね？コロナが減れば、ウイルス干渉が逆転しインフルエンザが増えるということなのです。そんなわけで、コロナウイルスが下火になっているときこそ、インフルエンザワクチンの接種をお勧めいたします。



地域おこし協力隊として Vol.83

「空き家対策」始めませんか？

移住定住支援協力隊 いまぜき まき
今関 真貴



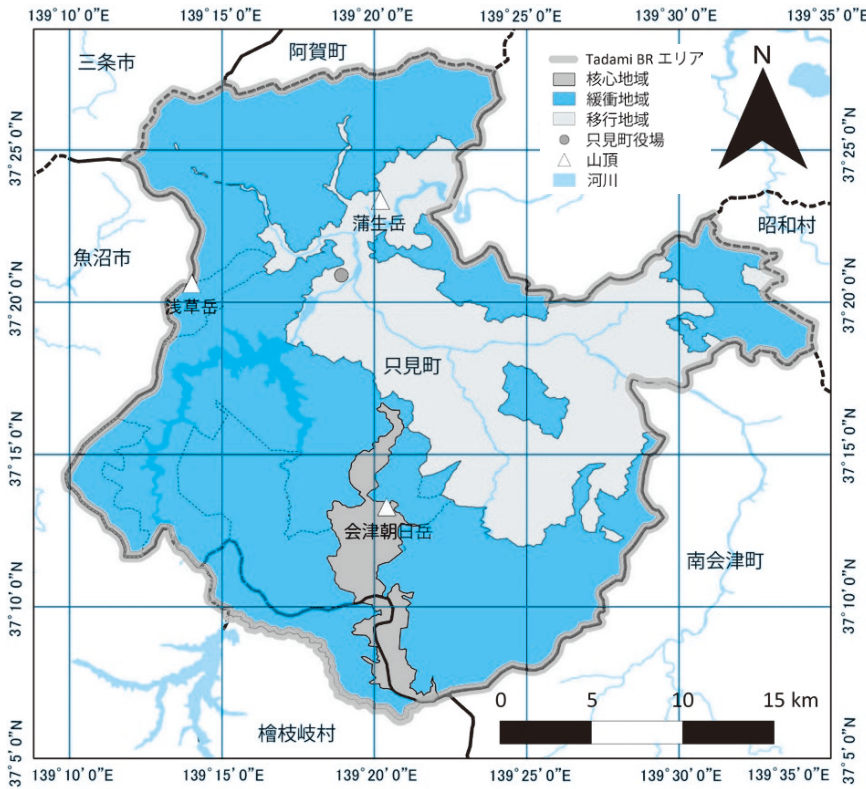
私の住む家はいわゆる「空き家」物件です。入居に際しては、大家さんが家の片付けとメンテナンスをしてくださり、快適に心地よく過ごすことができます。食器棚にはレトロなコップ、車庫には秩序良く並んだ釘やノコギリ、スコップや支柱などの道具があり、庭では季節ごとの花が咲きます。ここで暮らしていると、以前お住まいだったご家族が丁寧に生活し、庭仕事を楽しんでいた様子が目に浮かび、この家をお借りできたご縁をとってもありがたく感じます。

空き家を次の住み手に繋ぐためにはご縁とタイミングも重要な要素のひとつだと思います。空き家の状況（立地、築年数、間取り、家財の有無など）は物件毎に異なりますし、利用希望者が住まいに求める条件も千差万別ですが、「空き家対策なんて今はまだ早いかな？」と思っているうちに売却や賃貸のタイミングを逃してしまうこともあるかもしれませんし、活用できなければ費用をかけて解体することも考える必要があります。

適切なタイミングで空き家の利活用を進めるためには、まずは対策方法を知ること。そして将来をイメージすること。また、身近な人と相談しながら“家の終活”を始めることも大切です。空き家だけでなく自宅や実家について、皆さんも考え始めてみませんか？

只見ユネスコエコパークの土地利用区分とその特徴

人と自然との共生という理念・目的のために、只見ユネスコエコパークでは3つの土地利用区分が設定されています。今回は、それぞれの土地利用区分における特徴を紹介します。



核 心 地 域

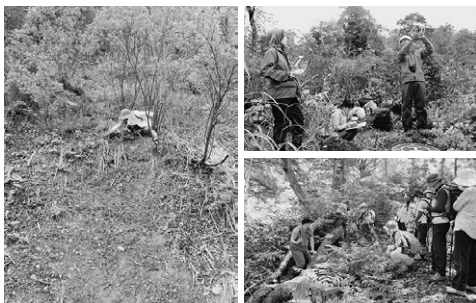
奥山の山頂付近など、守るべき貴重な自然環境・生物多様性を長期的に、厳格に保護・保全するエリアです。会津朝日岳から坪入山に続く稜線部に設定され、奥会津森林生態系保護地域の保存地区、越後三山只見国定公園の特別保護区となっています。雪食地形やモザイク植生の景観が原始的な状態で残されています。



核心地域になっている会津朝日岳山頂部
※原則立ち入り規制地域になります。会津朝日岳の登山道部分のみ利用可能です。

緩 衝 地 域

人間活動から核心地域の自然環境を保護し、核心地域と同等の自然環境を有するエリアです。越後三山只見国定公園の特別保護区・特別地域、奥会津森林生態系保護地域の保全利用地区、会津山地緑の回廊、町有地などが対象地域。調査研究、入会慣行による山菜・キノコなどの採集、エコツーリズムなどの保全と適切な利用を両立した活動が行われています。



左：入会慣行による山林資源利用、
右上：調査研究、右下：エコツアー

移 行 地 域

私たちが居住・生活し、自然環境・野生動植物の保全に配慮しながら、地域資源を活かした持続可能な地域社会の発展の取り組みを実現するエリアです。 ※以下取り組み例です。



「只見町の野生動植物を保護する条例」による生物多様性の保護・保全



ユネスコスクール活動や持続可能な開発のための教育（ESD）の推進



身近に自然を観察できる森（ただみ自然観察の森）の整備と保全



地域の森林資源を活かした薪材利用による化石燃料に頼らない低炭素社会の実現



自然環境や文化を活かしたエコツーリズム・グリーンツーリズムを推進する拠点施設や農家民泊



地域資源や伝統技術を活かした特産品開発と販売（「自然首都・只見」伝承産品）



町民文芸

只見短歌会 令和三年十月詠草

年老いし我が愚痴深くうなづきて受け止めくれる年下の友
馬場 八智

ボーナスも退職金もなき農に生き野菜作りも駄目となりたり
渡部ゆき子

冷蔵庫のドアに小さき手跡有り見つけし我の笑顔も映る
目黒 富子

只見線復旧のニュース見る度に列車と共の思い出深し
関谷登美子

週末に泊まりに来るとふ孫二人疲れの溜まり悩み断る
新国由紀子

お土産の紙風船をふくらまし幼き頃の思ひ巡らす
渡部ヨリ子

こぶし苑シヨートステイの我にまでスタッフらみな明るく優し
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 十月定例会

天高し稚児の前転崩れおり
毬栗の落ちたる音や至福時
修 一

地下足袋の小鉤も錆びて茸の夢
河鹿笛唯それだけで故郷は
幸 生

秋高し暮る思いの旅心
秋時雨落人哀れ戊辰の役
信

運動会園児の笑顔手の平に
大空に背伸びしてみるそばの花
都

指折りて再会近き秋うらら
すき間なく詰めて宅配秋野菜
弘 子

耕せば秋蝶影をおとし行く
秋の花大器に盛りて惜しみけり
一 恵

十三夜髪梳きながら空覗く
古民家に稲刈りの音響く町
真理子

里いもの朝露背中にひんやりと
亀虫が飛ぶ我が家にも冬近し
睦 子

邯鄲の庭の片隅探し出す
幼等の笹舟を追う秋日和
妙 子

萩の花庭一面を揺らしけり
愁思とも老いの一瞬あるがまま
恒 夫

秋の日の一日大事や吾が手足
いちにちの身の塵はらう秋夕焼
礼

酌みかわす晚酌三世豊の秋
兄弟の喧嘩仲裁日短か
一 穂

今月のお知らせ

お知らせ

自賠責保険・自賠責共済のご確認

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの令和2年の事故発生件数は約31万件、死傷者数は約37万人と誰もが交通事故の被害者にも加害者にも成り得る可能性があります。

自賠責保険・共済は、すべてのクルマ・バイク1台ごとに加入が義務付けられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の救済を目的としています。

自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですのでご注意ください。

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

無料調停相談会

会津若松調停協会主催の無料調停相談会を開催します。

金銭貸借、土地・建物の明け渡し、相続の問題などでお困りの方のご相談に応じます。事前予約不要で秘密は厳守されますので、ぜひご利用ください。

○日時

令和3年11月24日(水)

午前9時30分から午後6時まで

○場所

会津若松市城東町14-52

会津若松市文化センター

☎0242-2616661

○費用 無料

○申込方法 当日会場にて受付

○問合せ

福島地方裁判所会津若松支部庶務課

☎0242-2615725

林業退職金共済制度(林退共)

林退共は、林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うものです。

〈事業主の皆様へ〉

・共済証紙は労働日数に応じて適正に添付してください。

・共済手帳を所持している従業者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

○問合せ

独立行政法人勤労者退職金共済機構

林業退職金共済事業本部

☎03-6731-2889

意見箱を設置しました

町政に関してのご意見やご感想を町民の皆様から広く伺うために意見箱を設置しました。設置場所は次のとおりです。

○設置場所

町下庁舎、駅前庁舎、

只見・朝日・明和振興センター

皆様からのご意見を広く伺うものであることや意見箱の匿名性の高さから、回答は控えさせていただきます。ご理解・ご了承をお願いします。



税 今月の納期

11月25日までに納めましょう

- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者保険料(4期)



虫歯のない子

(10月26日 3歳児検診)



吉津 巨晴くん
(福井)

大竹 乃碧さん
(小林)

大竹 日生くん
(小林)

京増 心乃葉さん
(寄岩)

渡部 樟朝くん
(小川)

飯塚 みささん
(只見)

町長から

只見町長 渡部 勇夫

◇本年各集落で座談会を開催させていただきました。大変お世話になりました。

その際、多くの集落から農業用水路等の集落負担金が大変だという声があがりました。早速検討し、今まで7〜8割だった補助率を9割に引き上げる提案をさせていただき、議会のご理解をいただきました。

◇新型コロナウイルス3回目接種の連絡が来たら、すぐに対応できるように関係予算を10月議会に提案・可決いただき、準備を整えました。

◇秋の日はつるべ落しと言います。お車を運転される際は、早目のライト点灯を心がけましょう。日に日に寒くなつてまいります。くれぐれもご健康に留意されお過ごしください。



町長スケジュール (10月分)

- | | |
|---|--|
| <p>1日 教育委員辞令交付式、秋闘キャラバン
教職員組合要望書提出来庁、只見町消防団長来庁</p> <p>3日 シンポジウム「奥会津の戦国仏教文化をさぐるー学僧祐俊の旅と文化遺産ー」</p> <p>4日 臨時庁議（新型コロナウイルス対策本部会議（以下本部会議）、議会総務厚生常任委員会、議会経済文教常任委員会</p> <p>8日 東邦銀行（株）常務執行役員挨拶来庁、下郷町長就任挨拶来庁</p> <p>10日 只見町駅伝競走大会</p> <p>11日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方町村会理事会、南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会（於：南会津町田島）</p> | <p>12日 (株)福島情報処理センター社長他挨拶来庁、定例庁議（本部会議）</p> <p>13日 (株)住田光学ガラス代表取締役社長表敬訪問（於：さいたま市）</p> <p>14日 しあわせ金婚夫婦表彰式</p> <p>15日 福島県J R只見線復興推進会議（於：福島市）</p> <p>19日 南会津地方植樹祭、東北農政局地方参事官挨拶来庁、只見特産（株）取締役会</p> <p>20日 ふくしま市町村支援機構副理事長他挨拶来庁</p> <p>21日 一般国道252号雪国ゆめ街道期成同盟会福島県合同要望活動（於：福島市）</p> <p>22日 只見町議会10月会議</p> <p>26日 只見町表彰式・道路除雪表彰式、南会津建設事務所長来庁</p> <p>28日 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会役員会（於：福島市）</p> |
|---|--|

町民の消息

(9月26日～10月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

山内	オシマ	99歳	梁取
馬場	雄幸	91歳	蒲生
目黒	昌廣	69歳	小川
酒井	洋子	85歳	福井
菅家	ハツ工	94歳	黒谷
目黒	俊也	90歳	塩ノ岐
横山	ミイ	86歳	榎戸
小沼	暉宏	95歳	福井
星	弘元	94歳	長浜



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和3年10月1日現在

人	口	3,979 (-6)
男		1,958 (+2)
女		2,021 (-8)
世帯数		1,715 (-6)
高齢化率		47.0%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 5 出生 2 死亡 7

▽只見町民駅伝大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のために町民参加のみとなりましたが、久しぶりのスポーツ大会を楽しむことができたのではないのでしょうか。

▽広報ただみが皆さんのお手元に届くころには、元氣応援券・商品券も届いているかと思えます。町内経済の回復や発展のためにも、期限内のご利用をお願いします。

(小林)

あとがき

明和振興センター 図書紹介

明和振興センター図書室
☎86-2111
山内 希実子

おすすめ新着図書

★スモールワールズ



一穂 ミチ / 著 (講談社)

ままならない現実を抱えて生きる人たちの6つの物語。夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘

家族。人知れず手紙を交わしつつける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。

★あんなにあんなに



ヨシタケシンスケ / 著 (ポプラ社)

子育ては「あんなに」の連続。あんなにほしがってたのに、あんなにしんばいたのに、あんなに小さかったのに。日常にあふれるたくさんの「あんなに」の中で、子どもは大人になっていく。

大人気の絵本作家・ヨシタケシンスケによる、こどもと昔こどもだったすべての人に届けたい、ちょっと目頭が熱くなっちゃうやさしい絵本です。

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



ウスタビガ

(学名: *Rhodinia fugax*)

(写真・文 緒勝祐太郎)

【鱗翅目ヤママユガ科】



▲ 黄色を主とした色彩が美しいウスタビガの雌



▲ 深紅に染まった雄の翅は、色づいた樹々の葉とともに晩秋の雰囲気をかもし出す

山々が雪化粧し、山麓のブナ林が紅く染まる頃、生きものたちは厳しい冬に備えるため気配を消していきます。そんな中、晩秋の里山ではこの時期にのみ成虫が活動するウスタビガという蛾が見られます。

ウスタビガは翅を広げると10cmほどになる大型の蛾で、成虫は秋も深まった10月から11月にかけて現れます。翅の色は雌雄で異なり、雌は黄色の下地に褐色の帯が入りますが、雄は全体が橙^{だいだい}色あるいは黄褐色に染まります。寒冷地では、写真のような焦げ茶色の雄（黒化型）が稀に現れることがあり、雌に比べて色にバリエーションがあります。また、雌雄とも各翅の中央に半透明の丸い紋^{もん}があることが特徴です。このような色鮮やかな体は一見目立ちますが、紅葉した森の中では見事なまでに風景に溶け込みます。

ウスタビガは、幼虫がコナラやクリ、サクラ類、カエデ科など様々な広葉樹の葉を旺盛に食べますが、成虫は口が退化しているため、羽化してから死ぬまで何も食べません。寿命も一週間程度と短くその間に交尾・産卵を済ませ、はかない一生を終えるのです。里山に初雪の便りが届く頃には、ウスタビガも姿を消し、冬枯れの森は静寂に包まれていきます。

只見町ブナセンターから企画展のお知らせ

只見町ブナセンターでは、2021年12月4日(土)~2022年4月4日(月)まで、「ただみ・ブナと川のミュージアム」の2階ギャラリーにて企画展「只見の猛禽類」を開催いたします。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

企画展「只見の猛禽類」

会 期：2021年12月4日(土)~2022年4月4日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー